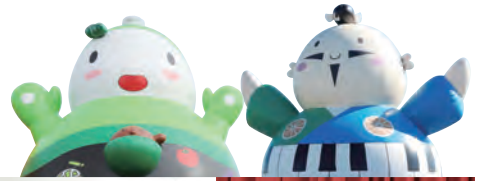


子 地区センターまつり どもから大人まで広がる交流の輪



11月2日から24日にかけて、市内10地区で地区センターまつりが開催されました。地域の皆さんの作品展示や、芸能発表、模擬店の出展、体験コーナーなど、どの地区も盛りだくさんの内容で、訪れた人たちは笑顔で交流を楽しんでいました。

内内田地区ふれあいフェスタ2024(11月2日) 南みなみやま会館まつり(11月3日) 六六郷ふれあいフェスタ(11月9日)
平第18回ひらかわ会館まつり(11月10日) 東第16回くすりん祭り(11月17日) 嶺第15回みねだ会館祭り(11月17日)
嶺第41回横地地区センターまつり(11月17日) 西第37回西方地区センター祭り(11月17日) 河フェスタ河城2024(11月17日)
加第40回加茂地区文化祭(11月24日)

行 市職員が接遇の現場実習を実施 政は最大のサービス業

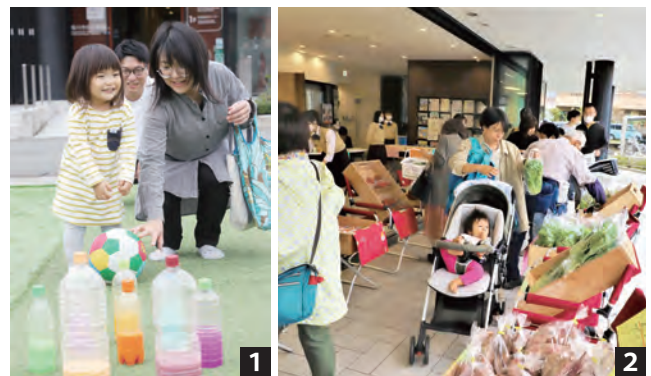
11月12日、下平川の菓子販売店「たこまん小笠本店」で、市職員が接遇の現場実習を行いました。市では「行政は最大のサービス業」との認識の下、職員の接遇力の向上に取り組んでいます。その取り組みの一つとして、毎年入庁3年目の職員が新規採用職員に接客マナーを指導する「接遇トレーナー」の役割を担っています。今回は、次年度接遇トレーナーとなる採用2年目の職員17人が同社の店舗で現場実習を行い、「笑顔での挨拶」や「気持ちの良い接客」を学びました。



1店舗従業員から接客を学ぶ 2気持ちの良い接客を実践

学 みんなのアソビバ&小さな収穫祭 生の得意分野が光る

11月3日、プラザきくで常葉大学附属菊川高校と小笠高校のコラボ企画『みんなのアソビバ』&『小さな収穫祭』が開催されました。生徒が自分たちの得意な分野を活かし、誰もが楽しめるイベントを計画。「アソビバ」では、常葉菊川高校の美術・デザイン科の生徒がアートモチーフに手作りして制作した遊びのブースが設置され、「小さな収穫祭」では、小笠高校の生徒が地元の新鮮野菜やお茶入りユニバーサルパンなどを販売し、多くの親子連れや買い物客で賑わいました。



1手作りボーリングを楽しむ 2新鮮な野菜を選ぶ買い物客